

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第1回行田市郷土博物館協議会
開 催 日 時	令和4年8月25日（木） 開会：午前10時00分 ・ 閉会：午前11時20分
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室
出席者（委員） 氏 名	荻原 章 安藤秀一 重田正夫 滝澤布沙 若松良一 大山能則 板垣時夫 高橋秀男
欠席者（委員） 氏 名	新井哲也 宮本伸子
事 務 局	館長 鈴木紀三雄 主査 浅見貴子 主任 澤村怜薫 主任(再任用)竹井律子 主事 岡本夏実
会 議 内 容	令和4年度上半期事業報告 令和4年度下半期事業計画 視察研修について
会 議 資 料	令和4年度第1回行田市郷土博物館協議会次第 令和4年度第1回行田市郷土博物館協議会資料
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
	<ul style="list-style-type: none"> * 委嘱状交付 * 教育長あいさつ (斎藤教育長) * 自己紹介 * 会長・副会長選出 (若松会長、大山副会長選出) * 会長・副会長あいさつ
事務局 (浅見)	<p>議 事</p> <p>これより議事に入る。進行は会長にお願いする。</p>
若松会長	<p>議事に入る前に、本日の協議会については公開をお願いしている。また、本日の議事については議事録を作成する予定である。議事録の最後に確認の署名を2名の方から頂戴したい。この場でどなたかをお願いしたい。事務局より提案はあるか。</p>
事務局 (浅見)	<p>それでは、名簿の順番で荻原委員、安藤委員をお願いしたい。</p>
若松会長	<p>事務局の提案でよろしいか。</p>
委 員	<p>よろしい。</p>
若松会長	<p>それでは、2名の方をお願いする。 では、次第に従って議事に入る。 まず(1)の令和4年度上半期事業報告について事務局より説明をお願いする。</p>
事務局	<p>(事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
若松会長	<p>ただいま事務局より説明があったが、どなたかご質問や評価等があったらご意見をお願いする。</p>

重田委員	<p>今、私たちが経験している新型コロナウイルス感染症拡大という状況は、大変な歴史的な出来事である。これを意図的に記録するという事は大事なことであると思う。市役所、市民の方、各団体がこれに対応したことの記録やその対応で使用した器物を廃棄せず保存することは大切であるとする。いまだ収束の兆しが見えない現状ではあるが、今から博物館として自前の資料を残せる様にさせていただけたらと思う。</p>
若松会長	<p>『博物館として、コロナ禍で人々がどのように対応してきたかをしっかりと記録しておくべきである』というご意見であるが、これに対し、事務局は心づもりを持っていくことができそうか。</p>
事務局 (澤村)	<p>そういった議論は、雑談の中では共有はしているが、明確な方針を決めているわけではないので、今日のご意見をしっかりと受け止め、どのようなビジョンで資料を収集し、記録を残していくかを学芸員同士で検討していきたいと思う。</p>
板垣委員	<p>今の重田委員の内容を少し膨らませていただくと、感染症や伝染病について、どのような形で先人たちが残しているかを民俗的なもので調べているが、そのような資料から、伝染病等がどのような形で流行し、その手立てとしておまじないやお祭りを行なったという民俗的なことがわかる。そういった方向からも資料を収集し企画展もしくはテーマ展の開催といったところまで発展させていただきたい。</p> <p>それぞれの分野で専門の学芸員に知恵を絞っていただき、興味深い展示ができることを期待する。</p>
若松会長	<p>民俗歴史分野において、このコロナ禍がきっかけとなって展示や友の会講演として加藤光男氏の講演計画もあったようだがいかがか。</p>
事務局 (岡本)	<p>なかなか具体的などころまで調べられてはいないが、市内の獅子舞も該当する。他にも疫病退散の民俗が、いろいろ残っていることから、今一度、まとめなおして展示等に反映させていきたい。</p>

	加藤光男氏の講演について、昨年度は残念ながら延期となってしまったが、本年度あらためて「博物館友の会」でお招きし、開催予定である。
若松会長	たいへん心強い発言である。
重田委員	一つ、付け足したい。 先ほどの板垣委員の発言は、私が先に述べた事を、より深く市民社会に向かって理解していただけるよう展示等を行うことで皆様に『このように私たちが歴史を支えている』という実感をもっといただける事を大掛かりなことを実施しなくても可能であるということだと思う。
若松会長	意識を切り替えれば、違ってみえるという事であろう。
板垣委員	会議資料5ページの本年度寄贈資料6点の内容について、概要を説明していただきたい。
事務局 (岡本)	絵馬については、市内須加地区の川島家から出たもので、馬と牛が描かれたものになっている。小型、中型の物を取りまぜて7点である。いずれも、馬頭観音の絵馬である。
事務局 (澤村)	次に、脇差、剣装具とあるが、正しくは刀装具である。江戸時代後期の忍藩の家臣にあたる家で市内在住の方から寄贈いただいたものがある。 続いて、成田氏供養帳他一点とあるが、これは室町戦国期の成田氏の家臣の家柄にあたるといわれる根岸家に伝わったものである。供養帳と書いてあるが、過去帳といったほうがわかりやすいと思われる。5番目の小見村古文書は、市内の方が集めたものを寄贈いただいたものである。
事務局 (浅見)	6番の土師器甕については、市内の方が昭和半ばぐらいに自宅近くの工事が行われた際に収集したという事で寄付いただいたものである。おそらく進修館高校すぐ近くの馬場裏遺跡ではないかと考えている。

事務局 (岡本)	<p>絵馬の補足であるが、東松山市の上岡馬頭観音である。職人に熊谷方面の方が多かったことから、熊谷で生産されたものと考えている。現在、調査中である。</p>
荻原委員	<p>一学期は比較的コロナも安定していたため、学校行事を多く受け入れていただき感謝申し上げます。いろいろな学校から問い合わせとかがあると思うが、見学予約は増えているのか。</p>
事務局 (浅見)	<p>今のところ、秋口の見学予定がだいぶ増えている。コロナが始まって、いったん落ち着いた頃から、市内の学校だけではなく、県内外を含め、特に中学校・高校の見学先として問い合わせをいただくことが多くなった。見学先の受け入れ状況が変わってきたという事で、新しくこちらの博物館に注目をいただいたという事があるようだ。受け入れについては、クラス単位で行っており、2から3クラスであれば受け入れは可能であるという事で調整を図っているところである。</p>
滝澤委員	<p>全般的にはこういった博物館の活動で行田市の格が上がってきていると思っている。活動が実を結んできたことについて、御苦労もあったと思う。ただ、現在ある資料などに対して、もう少し掘り下げてほしいとの思いもある。(8)文化財保存活用地域計画の作成にかかわる業務については新しい試みとして期待している。今まで知られていなかった文化財についても新しく出てくる出だろう。考えていくべきものとして、家に伝わってきた資料や養蚕建築の建物など専門家の力を借りないと保存管理の方法がわからない文化財についての危惧がある。それら一つずつに地域の民俗の物語が込められていると思うので大切にしていきたい。</p>
若松会長	<p>文化財保存地域計画の作成に関しては、文化財保護課と連携しての事業であるが、行田市には膨大な量の資源があるので、この計画の実現について大きく期待するものである。</p>

高橋委員	<p>資料2ページにあるキャッシュレス決済の中で、電子マネー・クレジットカード決済が始まったとあるが、私も電子マネーをよく使うのでこうした取り組みはありがたい事である。</p> <p>資料10ページの(8)文化財保存活用地域計画の作成にかかる事業について、これは文化財保護法に基づいた計画であり、新聞でこれに関する記事で、国によって地方公共団体が「文化財保存活用地域計画」を作成する際の基本的な考え方や留意事項などを指針として取りまとめている事業であると目にしたが、市の職員が通常の業務をこなしながら実施して行くのは大変な事と思う。</p>
若松会長	<p>(1)の令和4年度上半期事業報告については終了する。 次の(2)下半期の事業計画に移りたいと思う。</p> <p>(事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
若松会長	<p>下半期の事業計画について、何かご質問はあるか。 特になければ、私のほうから一つ提案がある。 「天正十八年」という非常にパンチのあるタイトルで開館35周年の企画展が始まるが、これは日本中でここでなくてはできない大本命の展示になる。私たち協議会として協力・助言のことができることがあったらこの展示を成功させるために委員の皆様の知恵を拝借したい。私としては、ここのホームページが弱いと思っている。他の館を見てみると、展示期間のだいぶ前から狼煙を上げるように、そこで展示する主要な資料の写真に短い文書を添えて興味をそそられるようなパンチ力のあるものを発信している。この館の現状をみて、少ない職員数で早く周知させることは難しいと思うが、今回においては特に、企画展の担当とは別に全ての面で先が見える方が広報を担うのがよいと思う。行田ケーブルテレビや埼玉新聞などに、ぜひ情報提供をしてほしい。喜んで取材をしてくださると思う。広報について後悔することがないように、あらゆる手段を検討し実施してほしいと思う。</p>

	<p>私たちがPRの一端を担えればと思っているので、委員の皆様の知恵を貸していただければと思う。何か良い知恵はないか。</p>
高橋委員	<p>自治会の回覧や配布文書、学校関係へのPRなど。市のホームページのトップページへ目に留まるような写真を掲載するなど。</p>
若松会長	<p>今度はすごい家宝なども来るそうであることから、視覚的にも訴えるものもあるのではないか。</p>
大山副会長	<p>どうしても市内中心の広報になってしまう。広報の媒体を広げて他市・県外から来るような宣伝が必要になってくる。 先の学校との連携で説明のあった、サレジアン国際学園というのはどこにあるか。</p>
事務局 (浅見)	<p>私立の中高一貫の学校で最近校名を改称されており、かつては星美学園という名称だった東京都北区にある学校である。 他に東久留米市立の小学校は、昨年もいらしていただいたが、見学先としてよかったという事であった。</p>
大山副会長	<p>遠方から来る目的は、特定の物を見に来るのか、それとも全体を見に来るのか。</p>
事務局 (浅見)	<p>さきたま古墳群とセットで一日午前・午後でこの近辺で見学が可能なコースのようである。</p>
事務局 (鈴木)	<p>先ほどの広報の件であるが、おもてなし観光局が団体客を誘致しようという事で力を入れており、そこに情報提供したいと思う。 観光局から、9月以降、まだ決定という事ではないが、旅行会社が行田を見学するツアーを企画し、人集めを行っている最中であり、ツアー内容には博物館見学の計画が多数あると聞いている。 観光局からも、旅行会社に積極的に広報をしてもらえるとのことである。</p>
若松会長	<p>観光地の博物館は日ごろ慣れているが、私たち観光地でないところの博物館とすればバスでお客様が来るという事は奇跡的にうれしいことである。ただ、大人数となるトイレの問題、また、コロ</p>

	<p>ナ感染拡大時では対応の仕方など配慮しなければならないので苦労もあると思う。</p> <p>委員も、自分のつながりのある範囲に情報を発信していきたいので、博物館からも各委員に情報共有してもらえれば手伝いたいと思う。</p> <p>夜間延長等も大変と思うが、5年ほど前沖縄の博物館に行った時、ナイトミュージアムというのをやっており、昼間暑いとため旅行者には好評であった。ここでも、7月の夜の入場者を見ると効果があったのではないかと思えるので、夏場には有効ではないか。</p> <p>シフトを変えて、夏はやってみるというのもよいのではないか。</p> <p>この夜間延長は、職員全員で対応しているか。</p>
<p>事務局 (鈴木)</p>	<p>予算の問題等もあり受付業務を行っている会計年度任用職員には延長業務の対応をさせることができないことから、正職員だけで対応しており受付業務も行っている。</p>
<p>若松会長</p>	<p>他に御意見もないので、下半期の事業計画については終了する。</p> <p>次に、(3) 視察研修について、説明を事務局より願います。</p>
<p>事務局 (浅見)</p>	<p>今年度、視察研修について日帰りという形で計画している。</p> <p>時期としては10月から11月、視察先としましては本市の姉妹都市である白河市方面を考えている。</p>
<p>若松会長</p>	<p>それでは、以上で議事を終了する。皆様の御協力で議事がスムーズに進行したことに感謝を申し上げたい。それでは、議長をおろさせていただきます。</p>
<p>事務局 (浅見)</p>	<p>本日は長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会のご挨拶を副会長よりお願いしたい。</p> <p style="text-align: center;">※大山副会長閉会あいさつ</p> <p style="text-align: center;">※テーマ展 展示見学</p>

--	--